

四国横断自動車道 すくも 宿毛 うちうみ ~ 内海

第2回 説明資料

平成30年1月24日

国土交通省 四国地方整備局

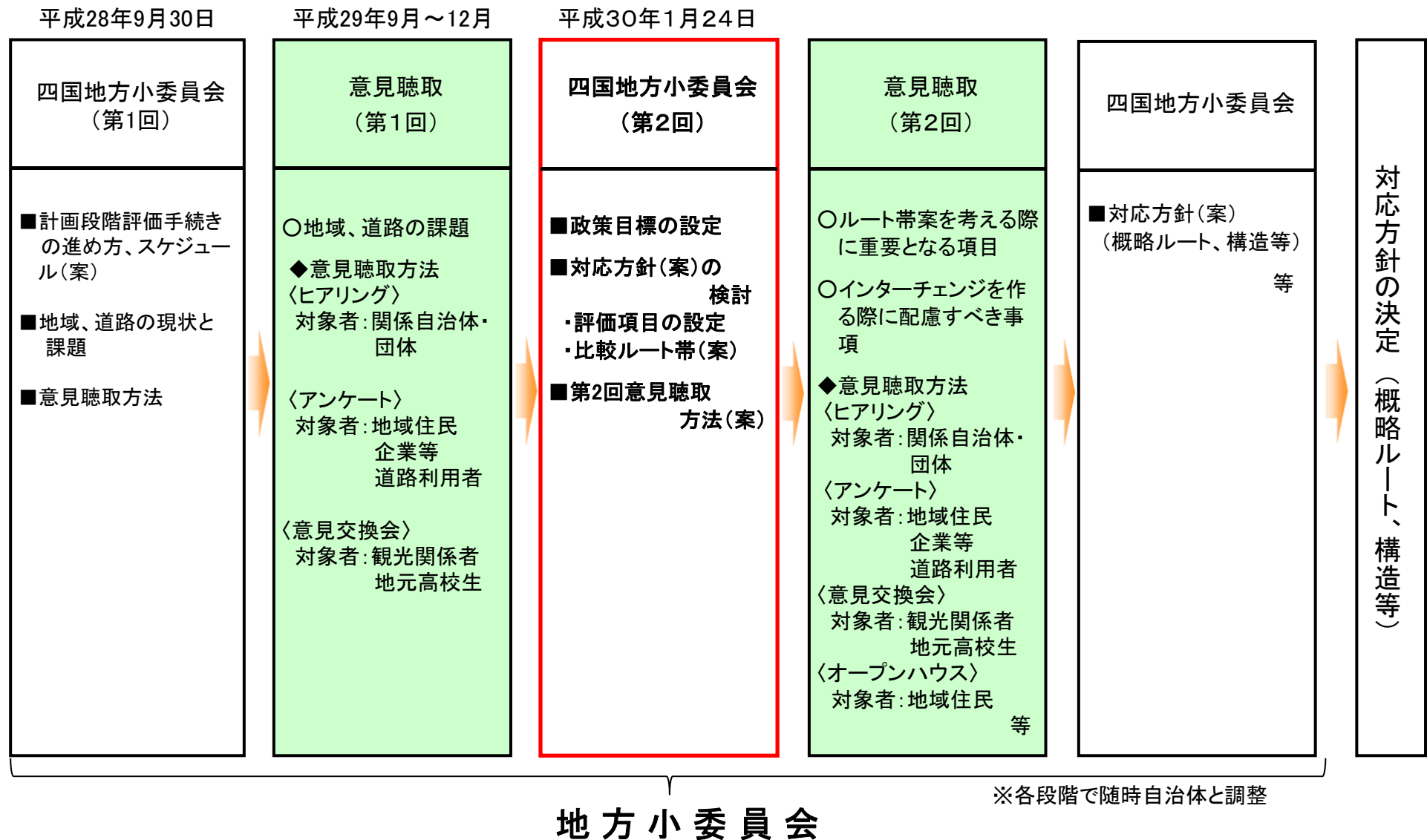
目次

1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案) …	2
2. 前回の審議内容 …	4
3. 政策目標の設定 …	7
4. 第1回意見聴取の結果 …	9
5. 対応方針(案)の検討 …	26
6. 第2回意見聴取方法(案) …	36

1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)

1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



2. 前回の審議内容

第1回四国地方小委員会の概要

<p>■実施日 平成28年9月30日(金)</p> <p>■主な議題 ①地域や道路の現状と課題 ②意見聴取方法(案)</p>
--

第1回四国地方小委員会での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
・アンケートの回答はWEB、スマートフォンでも対応してもらいたい。	・アンケートへの回答は、返信はがきでの回答以外に、WEBサイトでの回答を受付。 ・QRコードの利用やスマートフォンでも回答しやすいように配慮した回答フォームを用意。
・次世代を担う若い年代層にも意見聴取を行ってほしい。	・地元の高校生(南宇和高校、宿毛工業高校)を対象に意見交換会を開催。 ・若い年代層がアンケートに回答しやすいように、WEBアンケートを併用。
・ヒアリングにて、地域の方々がまちづくりなどを考えるきっかけとするとともに、重要視する地域の課題を把握していただきたい。	・自治体及び団体に、この地域の将来像についてヒアリング。 ・ヒアリングでは地域の4つの課題を説明するとともに、重要視する課題を自由回答として確認。
・県境を越えて繋がる道路の必要性・需要(広域的観光や物流など)を域外の方も含めた意見聴取により見出してもらいたい。	・愛媛県・高知県のトラック協会、大手旅行代理店にヒアリング。 ・愛南町や宿毛市の観光関係者に加え、大手旅行代理店や両県の観光関係者を集めた意見交換会を開催。
・アンケート用紙に地図等を使用して、8の字が繋がるという意味を示すように工夫してほしい。	・アンケート用紙に四国8の字ルートの図を掲載。
・きめ細やかな意見聴取を行うとともに、円滑に手続きを進めていただきたい。	・宿毛市、愛南町のHPでの周知や、新聞広告、CATV、Facebookなどにより広く広報。 ・四国地方整備局、大洲河川国道事務所、中村河川国道事務所、愛媛県、高知県、愛南町、宿毛市のHPにてWEBアンケートを実施。 ・郵送・WEBによるアンケートに加え、インタビュー形式によるヒアリング及び意見交換会により、きめ細やかな意見聴取を実施。

2. 前回の審議内容(地域課題)

防災

- ・南海トラフ地震により、宿毛市と愛南町の約1割が死傷
- ・国道56号の約2割が津波浸水し、宿毛市では1~2ヶ月間長期浸水
- ・愛南町では2割以上、宿毛市では4割以上の建物が全壊・消失
- ・過去より豪雨による通行規制が発生しているが代替路が存在しない

宿毛湾港を活用した地域力強化

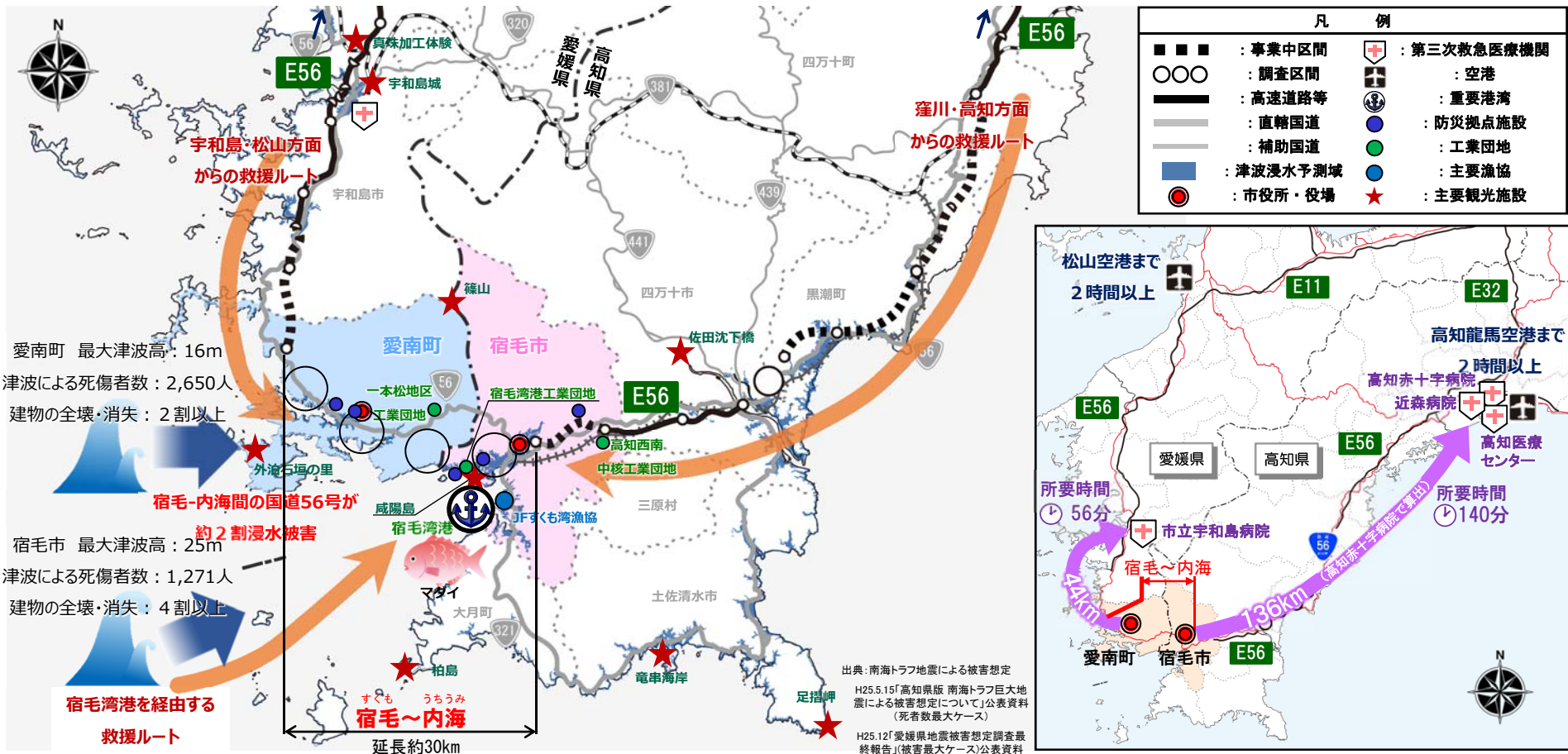
- ・避難・救援時に高速道路や宿毛湾港から防災拠点へのアクセス確保が急務
- ・宿毛市の大規模産業団地は高知IC周辺に比べて稼働率が低く、宿毛湾港が活用されていない
- ・宿毛湾港の旅客船寄港回数が伸び悩んでいる

地域産業の育成・強化

- ・宿毛市の養殖マダイの全国シェアが3年間で7%から5%へ低下
- ・愛南町と幡多地域の観光客数は平成20年から約1~3割減少

安全安心

- ・愛南町・宿毛市の約5割が第三次救急医療施設まで1時間以上、必要とする
- ・愛南町では医師不足もあり、管外搬送数が高止まりしている
- ・線形不良により、見通しの悪い急カーブでの事故が多く発生している



3. 政策目標の設定

3. 政策目標の設定

○地域の課題及び沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の将来を見据えた改善すべき地域課題（政策目標）を以下に設定

地域課題	防災	宿毛湾港を活用した地域力強化	地域産業の育成・強化	安全安心
	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震により、宿毛市と愛南町の約1割が死傷 ・国道56号の約2割が津波浸水し、宿毛市では1～2ヶ月間長期浸水 ・愛南町では2割以上、宿毛市では4割以上の建物が全壊・消失 ・過去より豪雨による通行規制が発生しているが代替路が存在しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難・救援時に高速道路や宿毛湾港から防災拠点へのアクセス確保が急務 ・宿毛市の大規模産業団地は高知IC周辺に比べて稼働率が低く、宿毛湾港が活用されていない ・宿毛湾港の旅客船寄港回数が伸び悩んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市の養殖マダイの全国シェアが3年間で7%から5%へ低下 ・愛南町と幡多地域の観光客数は平成20年から約1～3割減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛南町・宿毛市の約5割が第三次救急医療施設まで1時間以上、必要とする ・愛南町では医師不足もあり、管外搬送数が高止まりしている ・線形不良により、見通しの悪い急カーブでの事故が多く発生している

政策目標	①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保	②物流・防災拠点「宿毛湾港」への円滑なアクセス確保により地域力強化を支援	③速達性・走行性の向上により産業振興を支援	④地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援	⑤救急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現 走行性向上による交通事故の減少
------	------------------------------	--------------------------------------	-----------------------	-------------------------	--

○政策目標を達成するために考慮する評価項目

<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道56号の代替機能 ・ 地域の防災拠点への円滑な連絡の確保 ・ 避難路と連携した一時的な避難場所としての活用 	<p>【宿毛湾港の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿毛湾港との円滑な連絡の確保 	<p>【地域産業の育成・強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市場までの輸送時間短縮、商品の品質確保（急カーブや信号交差点の影響） 	<p>【観光振興の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加（広域的な時間短縮等） 	<p>【安全安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少（急カーブや信号交差点の影響）
--	--	---	---	---

当該地域の高規格幹線道路の対応方針(案)を検討

4. 第1回意見聴取の結果

4. 第1回意見聴取の結果(意見聴取の実施概要)

○意見聴取は、アンケート調査、ヒアリング調査および意見交換会を以下のとおり実施した。

	対象者	実施期間	回収方法	実施概要	回答状況
アンケート調査	地域住民	平成29年9月15日(金) ～10月5日(木)	郵送回収	宿毛市・愛南町の全世帯に配布(20,004世帯)	回答数:7,052票 (回収率:35.3%)
	企業等	平成29年9月15日(金) ～10月5日(木)	郵送回収	宿毛市・愛南町の全事業所に配布(2,669事業所)	回答数:1,129票 (回収率:42.3%)
	道路利用者	平成29年9月15日(金) ～10月5日(木)	郵送回収 ヒアリング時回収	道の駅:みしょうMIC、すくも、みま、うわじまきさいや広場、津島やすらぎの里、大月、めじかの里土佐清水にて配布 観光施設:フレッシュ本松、三原村農業構造改善センター、物産館サンリバー四万十、宿毛駅(宿毛駅まつり来場者)にて配布	回答数:1,369票 郵送:743票 ヒアリング時:626票
	道路利用者 (WEB)	平成29年9月15日(金) ～10月5日(木)	WEB上で回収	四国地方整備局、大洲河川国道事務所、中村河川国道事務所、愛媛県、高知県、愛南町、宿毛市のHP上にアンケートを掲載	回答数:603票
ヒアリング調査	自治体及び 団体代表者	平成29年9月22日(金) ～10月20日(金)	インタビュー 形式での ヒアリング	【自治体】 愛媛県、高知県、愛南町、宿毛市、宇和島市、四万十市、土佐清水市、鬼北町、松野町、黒潮町、大月町、三原村 【各団体等】 商工会議所、商工会、青年会議所、消防署、警察、バス事業者、農協、漁協、観光協会、医療関係、旅行会社、道の駅、観光施設、市町村が地域代表として推薦いただいた地域の活動団体 【圏域外】 大手旅行代理店、トラック協会、愛媛ふるさと暮らし応援センター、高知県産業振興推進部移住促進課、愛媛県観光物産協会、高知県観光コンベンション協会	【自治体】 12自治体 【各団体等】 71団体
	道路利用者	平成29年10月1日(日) 平成29年10月2日(月) 平成29年12月2日(土) 平成29年12月3日(日)		道の駅:みしょうMIC、すくも、みま、うわじまきさいや広場、津島やすらぎの里、大月、めじかの里土佐清水にて実施 観光施設:フレッシュ本松、三原村農業構造改善センター、物産館サンリバー四万十	回答者:626人
意見交換会	観光関係者	平成29年11月16日(木)	グループ ミーティング	高知県・愛媛県・宿毛市・愛南町の観光関係者	参加者:22人
	南宇和高校	平成29年11月6日(月)		2年生現代社会専攻クラスで実施	参加者:18人
	宿毛工業高校	平成29年11月14日(火)		2年生1クラスの全員参加で実施	参加者:20人

4. 第1回意見聴取の結果(アンケートの広報状況)

○新聞広告、ポスター、ホームページ、Facebook、Twitter、ケーブルテレビ、防災行政無線により、アンケートの広報を実施した。

▼新聞広告によるアンケート調査の周知

○愛媛新聞（平成29年9月28日（木））

四国横断自動車道 宿毛～内海間における道路計画に関する 第1回 アンケート調査

四国横断自動車道 宿毛～内海間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見を伺いたい。道路計画に反映するためのアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いします。

アンケート実施期間 平成29年9月15日（金）～10月5日（木）

大洲河川国道事務所 0893-24-6508 #9910
中村河川国道事務所 0880-34-7307

【みなさまのご意見お待ちしております。】

▼ポスター掲示によるアンケート調査の周知

○愛南町役場 西海支所



○フレッシュ本松



▼ホームページへのアンケートバナーの掲載

○大洲河川国道事務所ホームページ



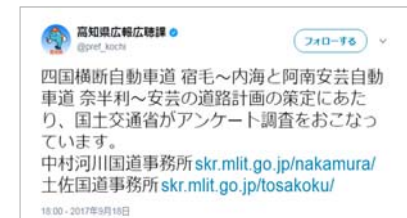
第1回 四国横断自動車道 宿毛～内海間に関するアンケート 実施期間 平成29年 10月5日（木）まで ご協力をお願いします

▼Facebook、Twitter、ケーブルテレビによるアンケート調査の周知

○四国地方整備局道路部 Facebook



○高知県広報広聴課 Twitter



○愛媛CATV テレビCM

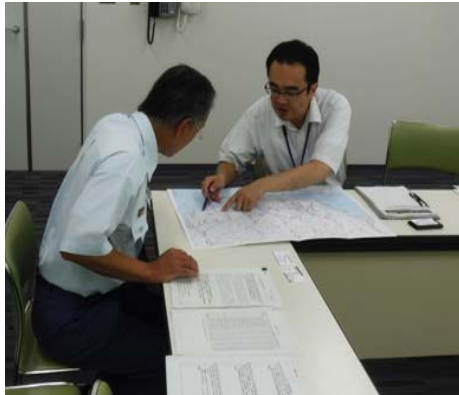


4. 第1回意見聴取の結果(ヒアリングの実施状況)

○自治体や各団体及び道路利用者へインタビュー形式でのヒアリングを実施した。

▼自治体や各団体へのヒアリング状況

○愛南町消防本部
平成29年9月26日(火)



○中村警察署
平成29年10月5日(木)



○JR四国旅行代理店(ワープ)
平成29年10月6日(金)



○すくも湾漁協
平成29年10月13日(金)



▼道路利用者へのヒアリング状況

○道の駅 みしょうMIC
平成29年10月1日(日)



○観光施設 フレッシュ本松
平成29年12月3日(日)



○物産館 サンリバー四万十
平成29年12月2日(土)



○道の駅 めじかの里土佐清水
平成29年12月3日(日)



4. 第1回意見聴取の結果(意見交換会の開催状況)

○意見聴取の実施にあたり、地域の観光関係者や高校生を対象として、宿毛～内海間の「地域の課題」や「求められる道路の役割」について話し合う意見交換会を開催した。

▼意見交換会の開催概要

地域	開催場所	開催期間	開催時間	参加者数		
愛南町	愛媛県立南宇和高等学校	11月6日(月)	13:45～15:35	2年生現代社会専攻クラス	18名	合計 60名
宿毛市	高知県立宿毛工業高等学校	11月14日(火)	10:00～12:00	2年生1クラス	20名	
宿毛市・愛南町	御荘文化センター	11月16日(木)	18:30～20:00	高知県・愛媛県・宿毛市・愛南町の観光関係者	22名	

▼意見交換会開催状況

○愛媛県立南宇和高等学校
平成29年11月6日(月)



○高知県立宿毛工業高等学校
平成29年11月14日(火)



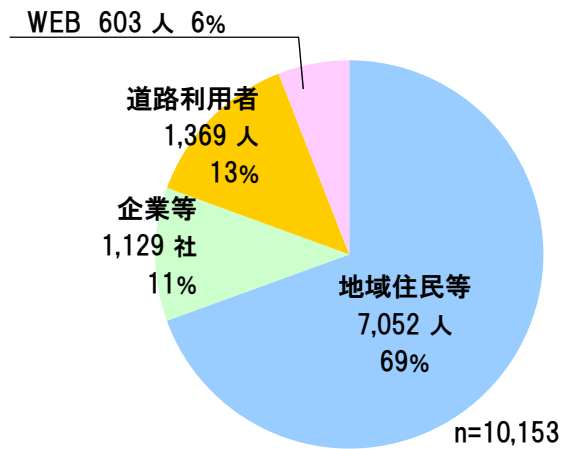
○観光関係者による意見交換会
平成29年11月16日(木)



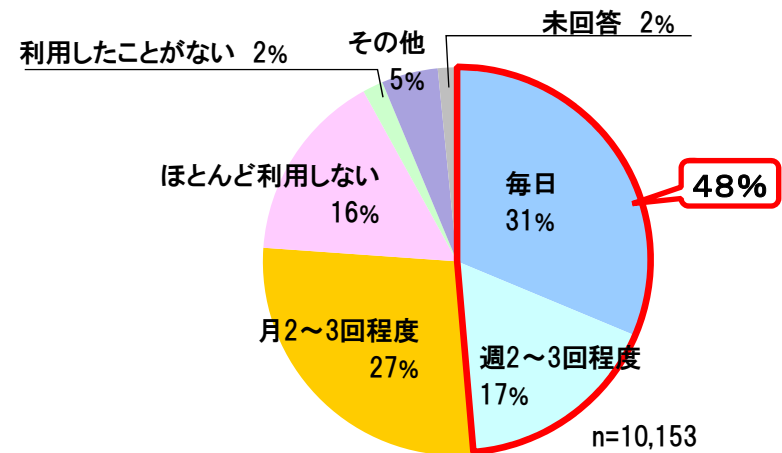
4. 第1回意見聴取の結果(アンケート:回答者の属性)

- 地域住民等7,052人、企業等1,129社、道路利用者1,369人、WEB603人から回答をいただいた。
- 回答者の約9割が、対象地域である愛南町、宿毛市に居住(企業は所在地)。
- 回答者の約5割が、国道56号 宿毛～内海間を「週2～3回程度以上の頻度で利用」と回答。
- 利用目的は、「仕事と通勤・通学」が約3割、「家事・買い物」が約3割、「観光・レジャー」が約2割と多様な状況。

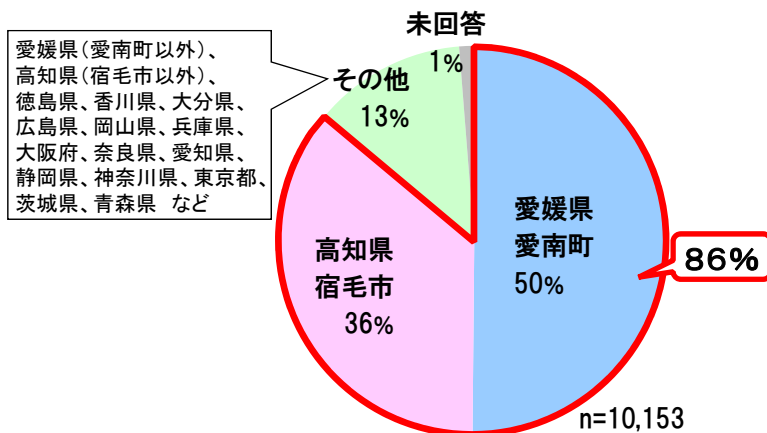
▼アンケート回収結果



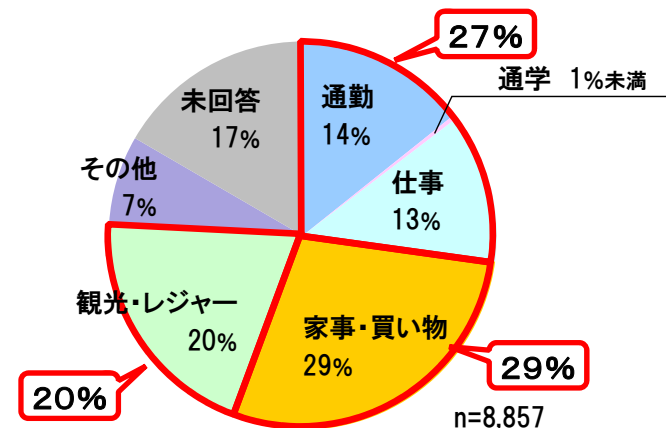
▼国道56号 宿毛～内海間の利用頻度



▼回答者住所



▼利用目的



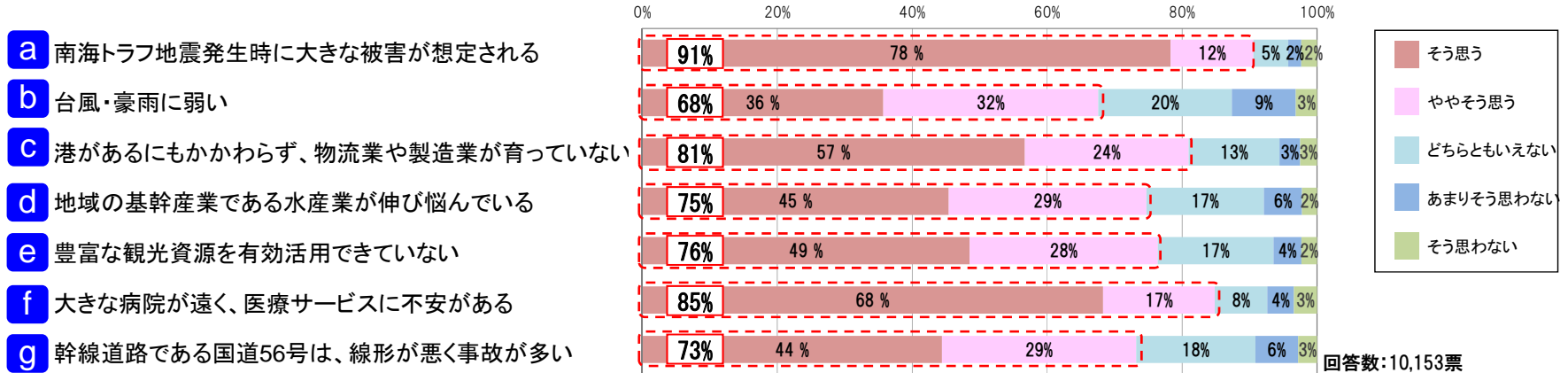
※ 利用目的は住民用・道路利用者・WEBアンケート回答者を対象とし、「利用したことがない」と回答された方以外を対象とする
 ※ 四捨五入により合計があわない場合がある

4. 第1回意見聴取の結果(アンケート:地域の課題)

(1) 当該地域(宿毛市、愛南町)の課題について

- すべての項目について、回答者の6割以上が課題とされている。
- 特に、「a 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される」を大きな課題とされている。

問1: 人口が減少し、高齢化も進展している宿毛市・愛南町地域における課題には、どのようなものがありますか？



<地域で困っていること、改善してほしいことなどについての自由意見(1,815件)>

※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合
※四捨五入により、合計があわない場合がある

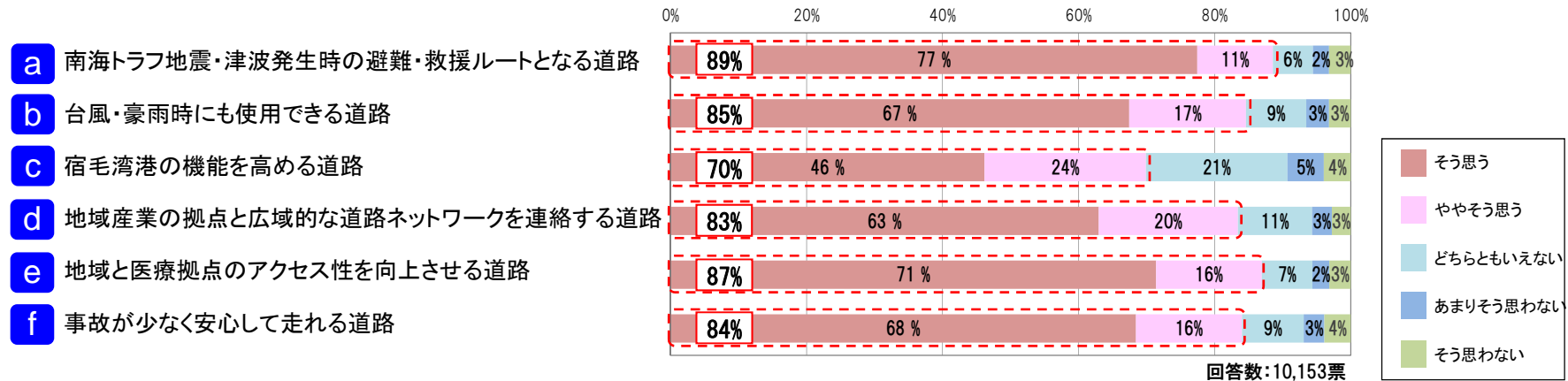
項目	自由意見
a 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される (154件)	<ul style="list-style-type: none"> ■災害が起きた時、幹線道路が一本では避難も救援物資の輸送も難しい。(60代 女性) ■南海トラフ地震発生時に愛南～宿毛間に丈夫な道路があると、物資や人々の移送に時間が短縮され大変良いと思う。(30代 女性)
b 台風・豪雨に弱い (113件)	<ul style="list-style-type: none"> ■災害時に迂回路として使用できる道路がない。(40代 男性) ■台風・豪雨で道が冠水しやすく、業務に支障が出る。迂回できる道があっても同様に浸かっている。(30代 女性)
c 港があるにもかかわらず、物流業や製造業が育っていない (153件)	<ul style="list-style-type: none"> ■愛南町の特産物をもっと外へ出したくても、高速道路がないと発展しないと思う。(30代 女性) ■企業や病院等を誘致しても、道路環境と条件が悪く誘致が困難。この地域は不便になる一方。まずは道路整備を望む。(40代 男性)
d 地域の基幹産業である水産業が伸び悩んでいる (86件)	<ul style="list-style-type: none"> ■宿毛市・愛南町の養殖マダイのシェアが減少している。これから10年・20年先どうなるか不安である。(愛南町 水産業) ■生鮮食品を大量消費地に速く輸送できる高速道路が不可欠である。(70歳以上 男性)
e 豊富な観光資源を有効活用できていない (67件)	<ul style="list-style-type: none"> ■移動の主となる道路が一本しかない為、産業や観光の移動に時間がかかる。(30代 男性) ■高知市、松山市からの観光客が来て欲しいが2時間以上もかかり、ネックになっている。(50代 男性)
f 大きな病院が遠く、医療サービスに不安がある (165件)	<ul style="list-style-type: none"> ■宇和島市内の病院に通院しているが、時間がかかり入院時や退院後の通院に不便を感じる。(60代 女性) ■交通事故等の緊急時に手術できる病院が遠く、不安である。(50代 女性)
g 幹線道路である国道56号は、線形が悪く事故が多い (132件)	<ul style="list-style-type: none"> ■御荘平山～須の川までカーブだらけなのに追い越し車線があり大変危ないと思う。(40代 女性) ■急カーブでも新しい道で通りやすくしてくれるのはよいが、事故の時迂回路がないのが困る。(60代 女性)
その他 (945件)	<ul style="list-style-type: none"> ■空港利用の際に高速道路が無い為、到着時間が読みにくい。(60代 男性) ■地域の交通網が脆弱であり、国道56号線が止まれば地域が孤立する。自動車道と港湾の整備を急いでほしい。(宿毛市 運輸業)

4. 第1回意見聴取の結果(アンケート:道路の役割)

(2) 当該地域(宿毛市、愛南町)に求められる道路の役割について

- すべての役割について、回答者の7割以上が必要とされている。
- 特に、「**a** 南海トラフ地震・津波発生時の避難・救援ルートとなる道路」としての役割を強く必要とされている。

Q2: 宿毛市・愛南町地域に必要な道路はどのような道路だと思いますか？



※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合
 ※四捨五入により、合計があわない場合がある

<道路に期待していることなどについての自由意見(2,301件)>

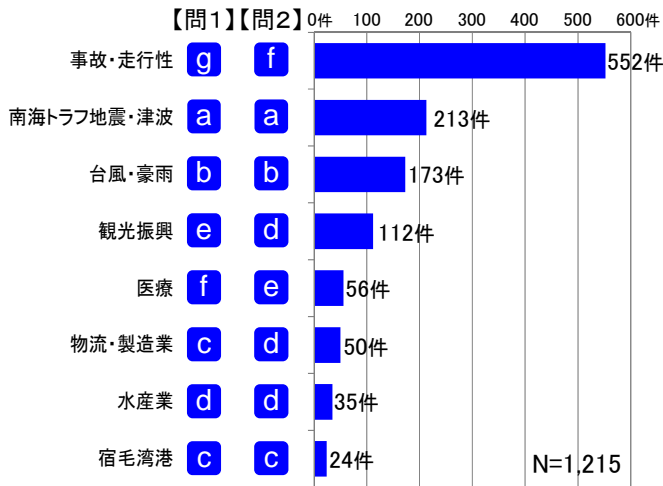
項目	自由意見
a 南海トラフ地震・津波発生時の避難・救援ルートとなる道路 (239件)	<ul style="list-style-type: none"> ■長期浸水の回避(ライフラインの確保)可能な道路。(40代 男性) ■本来の道路機能ではないが、一時的避難場所として利用できる高速道路。(愛南町 建設業)
b 台風・豪雨時にも使用できる道路 (144件)	<ul style="list-style-type: none"> ■豪雨で国道が度々冠水し通行止めになる。迂回路があっても貧弱で交通が麻痺する、安全安心な道路を。(60代 男性) ■地震や台風に強い道路が欲しい。何かあっても自宅から病院まで行けないのでは？と不安。(60代 女性)
c 宿毛湾港の機能を高める道路 (36件)	<ul style="list-style-type: none"> ■宿毛新港の有効活用、津波などの災害時でも活用できる道路。(宿毛市 建設業) ■素晴らしい新港があるのだから、客船の入港回数を増やすためにも早く道路を整備してほしい。(50代 女性)
d 地域産業の拠点と広域的な道路ネットワークを連絡する道路 (177件)	<ul style="list-style-type: none"> ■水産物流の時間短縮とスムーズな運搬ができるよう整備を。(愛南町 水産業) ■移動時間の短縮による観光周遊ツアーや仕事などでの通勤圏拡大がのぞめる道路。(20代 男性)
e 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路 (80件)	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者も多いので、病気等の緊急搬送時に大病院等へ早く到着可能な道路整備が望まれる。(40代 男性) ■医療に不安を感じる人が多い。大きな病院は遠くにあるため、少しでも早く行く事が出来る道路ができれば嬉しい。(30代 女性)
f 事故が少なく安心して走れる道路 (190件)	<ul style="list-style-type: none"> ■高速道路のようにカーブが少なく、高低差が少ない、運転がしやすい道路。(40代 男性) ■急カーブのない道路。(70歳以上 女性)
その他 (1,435件)	<ul style="list-style-type: none"> ■観光もですが、生活道路として活用している人が多いので、自動車道が出来る事を望みます。(40代 女性) ■空港、高知市、松山市等への移動時間の短縮を期待しています。自動運転や電気自動車の普及でさらに利便性向上も。(30代 男性)

4. 第1回意見聴取の結果(アンケート:国道56号に関する自由意見)

(3) 国道56号 宿毛～内海間について、あなた自身が日頃から感じる事などについて

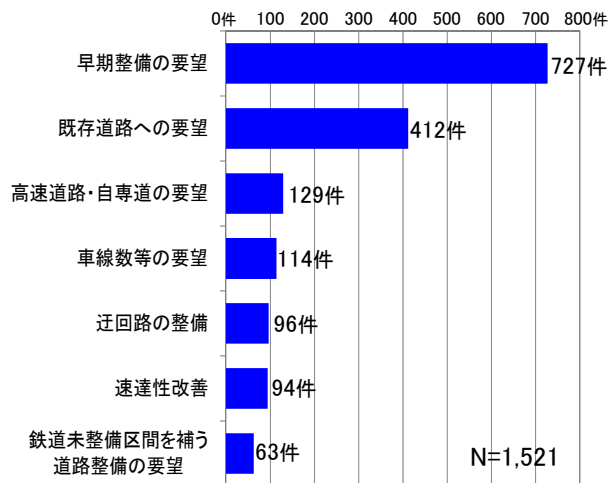
- 自由意見については、「事故・走行性」に対するご意見を多数頂いた。
- そのほかの意見として、「早期整備」を期待するご意見を多数頂いた。

<問1の a ~g、問2(a f) と同一項目の意見>



項目	自由意見
事故・走行性 (問1 g 問2 f) (552件)	■ 国道なのにカーブが多く事故の原因になっていると思う。空港やフェリー乗り場に行く時、事故などがあつたらアクセス出来ない。(60代 女性)
南海トラフ地震・津波 (問1・2 a) (213件)	■ 近い将来くるといわれる南海トラフ地震で、津波浸水により宿毛市は陸の孤島になると予想されており不安を感じる。(宿毛市 サービス業)
台風・豪雨(問1・2 b) (173件)	■ 台風の時、波が道路に打ちあがってきて通れなくなる。(70歳以上 女性)
観光振興 (問1 e 問2 d) (112件)	■ 自動車道がないため来客から「自動車道を下りてから長すぎる」と必ず不満を聞く、交通アクセスが悪すぎる。(40代 男性)
医療 (問1 f 問2 e) (56件)	■ 宇和島市まで救急車で国道56号を走るのはあまりにも遠く、道路も悪過ぎる。助かる命も助からない。(60代 男性)
物流・製造業 (問1 c 問2 d) (50件)	■ 道路事情が悪く、人や物の行き来や交流がないために、ますます過疎化が進んでいる。不便なところに人は住まない。(宿毛市 教員)
水産業 (問1・2 d) (35件)	■ 海産物を大消費地域へ売り込む事が鮮度維持的観点から出来ない、という欠点が目立ってしまっている。(40代 男性)
宿毛湾港 (問1・2 c) (24件)	■ 大規模地震時に浸水する国道の代替となる道路が全くない。大きな港ができたのに災害時にアクセスできないのではないかと。(40代 男性)
早期整備への要望 (727件)	■ 未だ事業化しておらず、地域が取り残された感じがする。過疎化に拍車がかかる要因にもなっているため、早急な事業化を要望したい。(50代 女性)
既存道路への要望 (412件)	■ 国道脇の雑草が伸びすぎて、前を走っている自転車が見えないことがある。(40代 女性) ■ 56号線は舗装の傷みも年々進んでいて、走行時に影響がある。(50代 男性)
高速道路・自専道の要望 (129件)	■ 自動車道の延伸を強く希望します。(50代 女性)
車線数等の要望 (114件)	■ 四国8の字ルートの完成に期待しています。(50代 男性)
迂回路の整備 (96件)	■ 最高速度50km区間が多く、追い越し可能な場所が少なすぎる。(愛南町 サービス業)
速達性改善 (94件)	■ 迂回路がなく災害事故で不通となる弱い道路。(40代 男性)
鉄道未整備区間を補う道路整備の要望 (63件)	■ 自分の住んでいる町まで自動車道が来て欲しい。目的地への移動に時間をかけないようになりたい。(愛南町 教員)
	■ 鉄道も高速道路もないため、生活全般で不利な環境にある。一日も早い高速道路の開通を望む。(50代 男性)

<その他の意見>



4. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング:地域の課題)

(1) 当該地域(宿毛市、愛南町)や国道56号 宿毛～内海間の課題について

○「地震・津波」、「観光」、「事故」、「医療」、「地域産業」、「台風・豪雨」等の課題を訴える声が多く寄せられた。

項目	意見
<p>a 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される (33団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道56号は津波浸水地域を<u>通っている</u>ため、<u>いつ起きるかわからない災害に不安</u>を感じる。(宿毛青年会議所) ■ 南海トラフ地震発生時には、地盤沈下を伴った<u>長期浸水により国道56号は寸断</u>される。(宿毛市) ■ 南海トラフ地震により御荘湾周辺は津波により浸水する。避難の後、<u>いかに復旧・復興をするかが課題</u>。 (愛媛県土木部)
<p>e 豊富な観光資源を有効活用できていない (31団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国地方の旅行会社へ営業をかけても、「<u>遠すぎる</u>」と返答される。(宿毛市観光協会) ■ この地域は、高速道路が無く時間がかかるため、クルーズ船の観光客などが、<u>周遊観光が出来ない</u>状況にある。 (愛南町)
<p>g 幹線道路である国道56号は、線形が悪く事故が多い (28団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道56号はカーブが多い。<u>県境付近では、対向車線へのはみ出しによる事故が発生</u>している。(宿毛警察署) ■ <u>事故が通行止め、渋滞に直結することが1番問題</u>である。プラス1の路線があると良い。(中村警察署)
<p>f 大きな病院が遠く、医療サービスに不安がある (20団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道56号はカーブが多く、<u>救急車の乗り心地が非常に悪く、患者に負担がかかる</u>。(愛南町消防本部) ■ 愛南町の病院には産婦人科がなく、市立宇和島病院や幡多けんみん病院まで行く必要があるが、<u>移動に時間が掛かり心配</u>。 (愛南町一本松女性団体連絡協議会)
<p>c 港があるにもかかわらず、物流業や製造業が育っていない (19団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 愛南町の物流は水産業がメインであり、<u>時間が経てば鮮度が落ちるので、ドライバーの無理に繋がる</u>。 (愛媛県トラック協会) ■ <u>宿毛湾港</u>は規模が大きいためどうか活用できればと思う。(中村青年会議所)
<p>b 台風・豪雨に弱い (14団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道56号が通行できなくなった際に代わりとなる<u>迂回路がない</u>区間が多い。(愛南警察署) ■ トラック輸送は山中のルートに不安があるため、台風で国道が通行止めになると<u>輸送ルートが無くなる</u>。(JA高知はた)
<p>d 地域の基幹産業である水産業が伸び悩んでいる (13団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水産物を首都圏へ『Day0出荷』したいが、<u>港から空港まで時間が掛かる</u>ため、実現できない。(愛南漁業協同組合) ■ <u>荷造りの時間が決まっている</u>ため、大漁の場合でも<u>一部しか出荷できない</u>。(すくも湾漁協)

4. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング:道路の役割)

(2) 当該地域(宿毛市、愛南町)に求められる道路の役割について

○「地域産業」、「観光」、「地震・津波」、「医療」、「台風・豪雨」、「事故」、「宿毛湾港との連携」等の課題解決に寄与できる道路を必要とする声が多く寄せられた。

項目	意見
<p>d 地域産業の拠点と広域的な道路ネットワークを連絡する道路 (53団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 活魚車の運搬時間を短縮することができ、結果的に出荷作業の時間効率化に繋がる道路が必要。(宇和島漁業協同組合) ■ マダイの出荷は活魚が多いため、横揺れが少ない道路であれば魚にストレスを与えないでよい。(すくも湾漁協) ■ 市場に出す時刻は決まっているので、移動時間を短縮できる道路があれば、収穫時間を増やすことが出来る。(JA高知はた) ■ 下道であると移動時間が読みにくいため、定時性を確保できる道路が必要。(愛媛県旅行会社(四国旅行)) ■ インバウンドでは田舎が好まれるので、この地域は観光地としてのニーズはある。周遊観光に寄与する道路が必要。(JTB) ■ 地域間交流が促進され、県外からの観光客も増加する道路が必要。(三原村商工会、四万十かいどう推進協議会(三原支部))
<p>a 南海トラフ地震・津波発生時の避難・救援ルートとなる道路 (30団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大規模災害時に活動拠点となる施設との接続が良い道路が必要。(愛南町) ■ 宿毛の市街地は津波浸水範囲であり、ケガ人の搬送や物資輸送のためにも、津波に浸からない道路が必要。(宿毛警察署) ■ 南海トラフ地震の際に、避難、復旧、復興に寄与する道路。(愛媛県土木部) ■ 災害時に避難路として使える道路が必要。(宇和島商工会議所)
<p>e 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路 (18団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 救急患者搬送の時間短縮や患者への負担が軽減できる道路が必要。(愛南町消防本部) ■ 救急車が出動すると、消防署に救急車が不在となる時間が発生する。専門医師が不足し、転院のための出勤も増えており(月2~3回)、往復の時間短縮ができれば救急車の不在時間も短縮できる。(幡多西部消防組合消防本部) ■ 高速道路であれば、揺れや振動が少なく患者やドライバーへの負担が少なくて済む。(幡多西部消防組合消防本部)
<p>b 台風・豪雨時にも使用できる道路 (15団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 土砂災害で国道が通行止めになると、地域が孤立する。孤立を防ぐ代替路が必要。 (愛南町一本松女性団体連絡協議会) ■ 通行止めのリスクを気にせず安心して通行できる道路。(中村青年会議所)
<p>f 事故が少なく安心して走れる道路 (14団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大洲道路の開通後、国道56号での事故が激減した。宿毛~内海間も高速が開通すれば、事故減少効果が期待できる。 (愛南警察署) ■ 海沿いの区間は、カーブの多い印象がある。カーブの少ない道路があれば、事故も減るのでは。(土佐清水青年会議所)
<p>c 宿毛湾港の機能を高める道路 (9団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害時に道路啓開を待たずに物資輸送できる、海上輸送の拠点港(宿毛新港)との連携を考慮した道路が必要。(宿毛市) ■ 防災拠点となる港から物資が運べる道路が必要。(宇和島商工会議所) ■ 宿毛湾港工業流通団地に新たな企業の進出が見込める道路。(三原村商工会、四万十かいどう推進協議会(三原支部))

4. 第1回意見聴取の結果(ヒアリング:地域の将来像)

(3) 当該地域(宿毛市、愛南町)を「どのようなまち(地域)にしたいか」について

○「産業」、「観光」、「医療」、「防災」等の課題を解決できる「まち」にしたいとの声が多く寄せられた。

項目	意見
産業 (28団体)	<ul style="list-style-type: none">■ 高速道路が繋がれば、<u>商品を町外・遠方へ売り出す仕組みをつくって</u>いける。(道の駅大月)■ <u>道路の整備や宿毛湾港の活用により、企業誘致を積極的に行える地域</u>にしていきたい。(フレッシュ一本松)
観光 (24団体)	<ul style="list-style-type: none">■ 各地方ではなく四国という大きなエリアで海外の方々に向けて売り出していくことが必要と考えている。そのためには、<u>旅行客の円滑な移動を可能とする四国8の字ネットワークの早期整備</u>が求められる。(愛媛県観光物産協会)■ 高速がつながれば、<u>宿毛や四万十まで行けるようになって、観光圏域が広がる</u>。(JR四国ワープ)
医療 (12団体)	<ul style="list-style-type: none">■ 愛南町からの患者もいるため、高速道路が繋がればさらに<u>受入れ数も増加し、救命率も上昇できる</u>のではないかと思う。<u>患者の病院選択肢が増える</u>。(幡多けんみん病院)
防災 (9団体)	<ul style="list-style-type: none">■ 防災面を強化し<u>早期救援が可能</u>となるなど、住民の方が安心して暮らせるような町になって欲しい。(宇和島地区広域事務組合消防本部)

4. 第1回意見聴取の結果(意見交換会:地域の課題、道路の役割)

- 宿毛市・愛南町の高校生や地域の観光関係者を対象とした意見交換会を開催。60名の方に参加いただいた。
- 「防災」「産業」「観光」「医療」の地域課題に対して意見があり、課題を解消する道路が望まれていた。

(1) 当該地域(宿毛市・愛南町地域)や国道56号 宿毛～内海間の課題について

項目	意見
地震・津波	・沿岸部では1箇所でも多くの津波避難場所が求められる。(南宇和高校)
台風・豪雨	・大雨になると道路が水に浸かって通れなくなる。(宿毛工業高校)
宿毛湾港	・主にアクセスの面から、宿毛新港を利活用しにくい。(観光関係者)
産業	・一次産業に頼りきりだが、農水産品を都市部へ輸送するのに時間がかかる。(南宇和高校)
観光	・愛南町・宿毛市間でもっと広域的な連携が必要。(観光関係者)
医療	・救急車にとって走りにくそうな道が続いており、不安を感じる。(宿毛工業高校)
安全な道路	・国道に急カーブ・急勾配の箇所が多い。(観光関係者)

(2) 当該地域(宿毛市・愛南町地域)に求められる道路の役割について

項目	意見
地震・津波	・津波発生時に一時的に避難できる場所としての役割が必要。(南宇和高校)
台風・豪雨	・台風や大雨の時に冠水しない迂回路が必要。(宿毛工業高校)
宿毛湾港	・クルーズ船が寄港する宿毛新港や市街地、観光地へ行き来しやすい道路が必要。(観光関係者)
産業	・地域の食材をその日のうちに早く遠くへ届けられる道路が必要。(観光関係者)
観光	・県境の玄関口である宿毛市・愛南町のまちを往来しやすくなる道路が必要。(観光関係者)
医療	・通勤時間や観光地・医療施設への移動時間短縮に寄与する道路が必要。(宿毛工業高校)
安全な道路	・カーブが少ない、走りやすい道路が必要。(宿毛工業高校)

▼ 討議状況(班ごとに分かれて発案・意見交換)

▼ 討議結果発表(各班の討議結果を発表)

▼ 意見交換会討議資料



地域の現状と課題	求められる道路の役割	政策目標(案)
<p>①南海トラフ地震 【アンケート】 a 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される 《91%》 【ヒアリング】 ■ <u>国道56号は津波浸水地域を通過しているため、いつ起きるかわからない災害に不安を感じる。</u> ■ 南海トラフ地震発生時には、地盤沈下を伴った長期浸水により国道56号は寸断される。 ■ 南海トラフ地震により御荘湾周辺は津波により浸水する。避難の後、<u>いかに復旧・復興をするかが課題。</u> ■ 防災面を強化し早期救援が可能となるなど、住民の方が安心して暮らせるような町になって欲しい。 【意見交換会】 ■ 沿岸部では1箇所でも多くの津波避難場所が求められる。</p>	<p>【アンケート】 a 南海トラフ地震・津波発生時の避難・救援ルートとなる道路 《89%》 【ヒアリング】 ■ <u>大規模災害時に活動拠点となる施設との接続が良い道路</u>が必要。 ■ 宿毛の市街地は津波浸水範囲であり、ケガ人の搬送や物資輸送のためにも、<u>津波に浸からない道路</u>が必要。 ■ 南海トラフ地震の際に、<u>避難、復旧、復興に寄与する道路。</u> ■ <u>災害時に避難路として使える道路</u>が必要。 【意見交換会】 ■ <u>津波発生時に一時的に避難できる場所</u>としての役割が必要。</p>	<p>①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替路の確保 ・防災拠点施設や避難路との連携
<p>②台風・豪雨 【アンケート】 b 台風・豪雨に弱い 《68%》 【ヒアリング】 ■ 国道56号が通行できなくなった際に代わりとなる迂回路がない区間が多い。 ■ トラック輸送は山中のルートに不安があるため、台風で国道が通行止めになると輸送ルートが無くなる。 【意見交換会】 ■ 大雨になると道路が水に浸かって通れなくなる。</p>	<p>【アンケート】 b 台風・豪雨時にも使用できる道路 《85%》 【ヒアリング】 ■ 土砂災害で国道が通行止めになると、地域が孤立する。<u>孤立を防ぐ代替路</u>が必要。 ■ <u>通行止めのリスクを気にせず安心して</u>通行できる道路。 【意見交換会】 ■ <u>台風や大雨の時に冠水しない迂回路</u>が必要。</p>	
<p>③宿毛湾港 【アンケート】 c 港があるにもかかわらず、物流業や生産業が育っていない 《81%》 【ヒアリング】 ■ 愛南町の物流は水産業がメインであり、時間が経てば鮮度が落ちるので、<u>ドライバーの無理に繋がる。</u> ■ <u>宿毛湾港は規模が大きい</u>ためどうか活用できればと思う。 【意見交換会】 ■ 主にアクセスの面から、<u>宿毛新港を利活用しにくい。</u></p>	<p>【アンケート】 c 宿毛湾港の機能を高める道路 《70%》 【ヒアリング】 ■ 災害時に道路路開を待たずに物資輸送できる、<u>海上輸送の拠点港(宿毛新港)との連携を考慮した道路</u>が必要。 ■ 防災拠点となる港から物資が運べる道路が必要。 ■ <u>宿毛湾港工業流通団地に新たな企業の進出が見込める道路。</u> 【意見交換会】 ■ クルーズ船が寄港する<u>宿毛新港、市街地・観光地へ行き来しやすい道路</u>が必要。</p>	<p>②物流・防災拠点「宿毛湾港」への円滑なアクセス確保により地域力強化を支援</p>

※アンケートの赤字《 》書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合

地域の現状と課題

④産業
【アンケート】
d 地域の基幹産業である水産業が伸び悩んでいる **《75%》**

【ヒアリング】
 ■水産物を首都圏へ『Day0出荷』したいが、**港から空港まで時間が掛かる**ため、実現できない。
 ■**荷造りの時間が決まっている**ため、大漁の場合でも**一部しか出荷できない**。
 ■高速道路が繋がれば、**商品を町外・遠方へ売り出す仕組み**をつくっていける。
 ■**道路の整備や宿毛湾港の活用により、企業誘致を積極的に**行える地域にしていきたい。

【意見交換会】
 ■一次産業に頼りきりだが、農水産品を**都市部へ輸送するのに時間がかかる**。

⑤観光
【アンケート】
e 豊富な観光資源を有効活用できていない **《76%》**

【ヒアリング】
 ■中国地方の旅行会社へ営業をかけても、**「遠すぎる」**と返答される。
 ■この地域は、高速道路が無く時間がかかるため、クルーズ船の観光客などが、**周遊観光が出来ない**状況にある。
 ■各地方ではなく四国という大きなエリアで海外の方々に向けて売り出していくことが必要と考えている。そのためには、**旅行客の円滑な移動を可能とする四国8の字ネットワークの早期整備**が求められる。
 ■高速がつながれば、**宿毛や四万十まで行けるようになって、観光圏域が広がる**。

【意見交換会】
 ■愛南町・宿毛市間で**もっと広域的な連携**が必要。

求められる道路の役割

【アンケート】
d 地域の産業の拠点と広域的な道路ネットワークを連絡する道路 **《83%》**

【ヒアリング(産業)】
 ■活魚車の**運搬時間を短縮**ことができ、結果的に**出荷作業の時間効率化に繋がる道路**が必要。
 ■マダイの出荷は活魚が多いため、**横揺れが少ない道路**であれば魚にストレスを与えないでよい。
 ■市場に出す時刻は決まっているので、**移動時間を短縮できる道路**があれば、**収穫時間を増やす**ことが出来る。

【ヒアリング(観光)】
 ■下道であると移動時間が読みにくいいため、**定時性を確保できる道路**が必要。
 ■インバウンドでは田舎が好まれるので、この地域は観光地としてのニーズはある。**周遊観光に寄与する道路**が必要。
 ■**地域間交流が促進**され、**県外からの観光客も増加**する道路が必要。

【意見交換会(産業)】
 ■地域の食材を**その日のうちに早く遠くへ届けられる道路**が必要。

【意見交換会(観光)】
 ■県境の玄関口である宿毛市・愛南町のまちを**往来しやすくなる道路**が必要。

政策目標(案)

③速達性・走行性の向上により産業振興を支援

④地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援

地域の現状と課題	求められる道路の役割	政策目標(案)
<p>⑥医療</p> <p>【アンケート】</p> <p>f 大きな病院が遠く、医療サービスに不安がある 《85%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国道56号はカーブが多く、救急車の乗り心地が非常に悪く、患者に負担がかかる。 ■ 愛南町の病院には産婦人科がなく、市立宇和島病院や幡多けんみん病院まで行く必要があるが、移動に時間が掛かり心配。 ■ 愛南町からの患者もいるため、高速道路が繋がればさらに受入れ数も増加し、救命率も上昇できるのではないかと思う。患者の病院選択肢が増える。 <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 救急車にとって走りにくそうな道が続いており、不安を感じる。 	<p>【アンケート】</p> <p>e 地域の医療拠点のアクセス性を向上させる道路 《87%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 救急患者搬送の時間短縮や患者への負担が軽減できる道路が必要。 ■ 救急車が出動すると、消防署に救急車が不在となる時間が発生する。専門医師が不足し、転院のための出動も増えており(月2~3回)、往復の時間短縮ができれば救急車の不在時間も短縮できる。 ■ 高速道路であれば、揺れや振動が少なく患者やドライバーへの負担が少なくて済む。 <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 通勤時間や観光地・医療施設への移動時間短縮に寄与する道路が必要。 	<p>⑤救急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現</p> <p>走行性向上による交通事故の減少</p>
<p>⑦交通事故</p> <p>【アンケート】</p> <p>g 幹線道路である国道56号は、線形が悪く事故が多い 《73%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国道56号はカーブが多い。県境付近では、対向車線へのはみ出しによる事故が発生している。 ■ 事故が通行止め、渋滞に直結することが1番問題である。プラス1の路線があると良い。 <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国道に急カーブ・急勾配の箇所が多い。 	<p>【アンケート】</p> <p>f 事故が少なく安心して走れる道路 《84%》</p> <p>【ヒアリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大洲道路の開通後、国道56号での事故が激減した。宿毛～内海間も高速道路が開通すれば、事故減少効果が期待できる。 ■ 海沿いの区間は、カーブの多い印象がある。カーブの少ない道路があれば、事故も減るのでは。 <p>【意見交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カーブが少ない、走りやすい道路が必要。 	

※アンケートの赤字《 》書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合

【第1回意見聴取のまとめ】

第1回意見聴取で提示したアンケート・ヒアリング項目に対し、

《地域の課題》アンケート：地域住民等の約7～9割の方が「防災面の脆弱性」、「宿毛湾港の活用」、「地域産業伸び悩み」、「観光資源有効活用」、「医療サービスへの不安」、「交通事故」について課題と思われる。

ヒアリング：地震、台風・豪雨による分断・孤立、地域産業や観光客の伸び悩み、医療サービスへの不安、事故への不安を訴える意見を多く頂いた。

意見交換会：ヒアリングと同様に、「防災」「産業」「観光」「医療」等に対して地域に課題があるとの意見を頂いた。

⇒ 『地域の課題』が確認できた。

《道路の役割》アンケート：地域住民等の約7～9割の方が課題を解消する道路が必要と思われる。

ヒアリング：地震に強い代替路の確保、豪雨時に通行止めにならない、宿毛湾港との連携、産業・観光の支援、医療拠点への速達性の向上や安静搬送、走行性の向上による交通事故減少を求める意見を多く頂いた。

意見交換会：ヒアリングと同様に「防災」「産業」「観光」「医療」等の課題を解消する道路を求める意見を頂いた。

⇒ 地域の課題を解決するための『道路整備の必要性』が確認できた。

以上より、地域の声は、第1回委員会で提示・確認いただいた『地域と道路の課題の解決を求めていること』が確認できた。

また、地域・道路の課題を解決するための『政策目標の妥当性』も確認できた。

地域と道路の課題を解決する政策目標を設定

5. 対応方針(案)の検討

5. 対応方針(案)の検討

- 第1回意見聴取で妥当性が確認できた「政策目標」を達成するため、対応方針(案)(ルート帯案)を検討。
- 対応方針(案)(ルート帯案)検討にあたって考慮すべき評価項目を踏まえ、複数のルート帯案を検討。

【政策目標】

- ①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保
・代替路の確保
・防災拠点施設や避難路との連携
- ②物流・防災拠点「宿毛湾港」への円滑なアクセス確保により地域力強化を支援
- ③速達性・走行性の向上により産業振興を支援
- ④地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援
- ⑤救急医療機関への速達性の向上や安静搬送
走行性向上による交通事故の減少

【ルート帯案検討にあたっての評価項目】

○ルート帯案の検討にあたっては、南海トラフ地震等への対応、宿毛湾港への円滑なアクセス確保、産業振興・観光振興・医療サービス支援
個交通事故の減少のための速達性・走行性に加え、自然・生活環境等の保全と調和、経済性等に配慮し検討する。

《政策目標を達成するために考慮する評価項目》

南海トラフ地震等への対応	速達性・走行性
<ul style="list-style-type: none"> ・国道56号の代替機能 ・地域の防災拠点への円滑な連絡の確保 ・避難路と連携した一時的に避難場所としての活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛湾港との円滑な連絡の確保 ・市場までの輸送時間短縮、商品の品質確保(急カーブや信号交差点の影響) ・観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加(広域的な時間短縮等) ・医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少(急カーブや信号交差点の影響)

《道路整備に際し配慮する評価項目》

※全事業対象項目

自然環境・生活環境等の保全と調和	経済性等への配慮
<ul style="list-style-type: none"> ・動物への影響 ・植物への影響 ・集落などへの影響 ・大気質及び騒音等の影響 ・重要な史跡等への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設に要する期間 ・建設に要する費用

複数のルート帯を検討



- 新たにバイパスを整備する案
- 現国道56号を改良する案

5. 複数のルート帯案の検討(南海トラフ地震への対応)

- 南海トラフ地震では最大震度7、最大津波高は愛南町で16m、宿毛市で25mが想定されている。
- 国道56号(宿毛～内海)の約2割が津波により浸水(最大浸水深約7m)、宿毛市街地は長期浸水が想定されている。
- 南海トラフ地震時の被害軽減に向け、高台や宿毛湾港等の防災拠点施設の整備が進められており、円滑な連絡を確保する必要がある。

▼宿毛市・愛南町の防災拠点

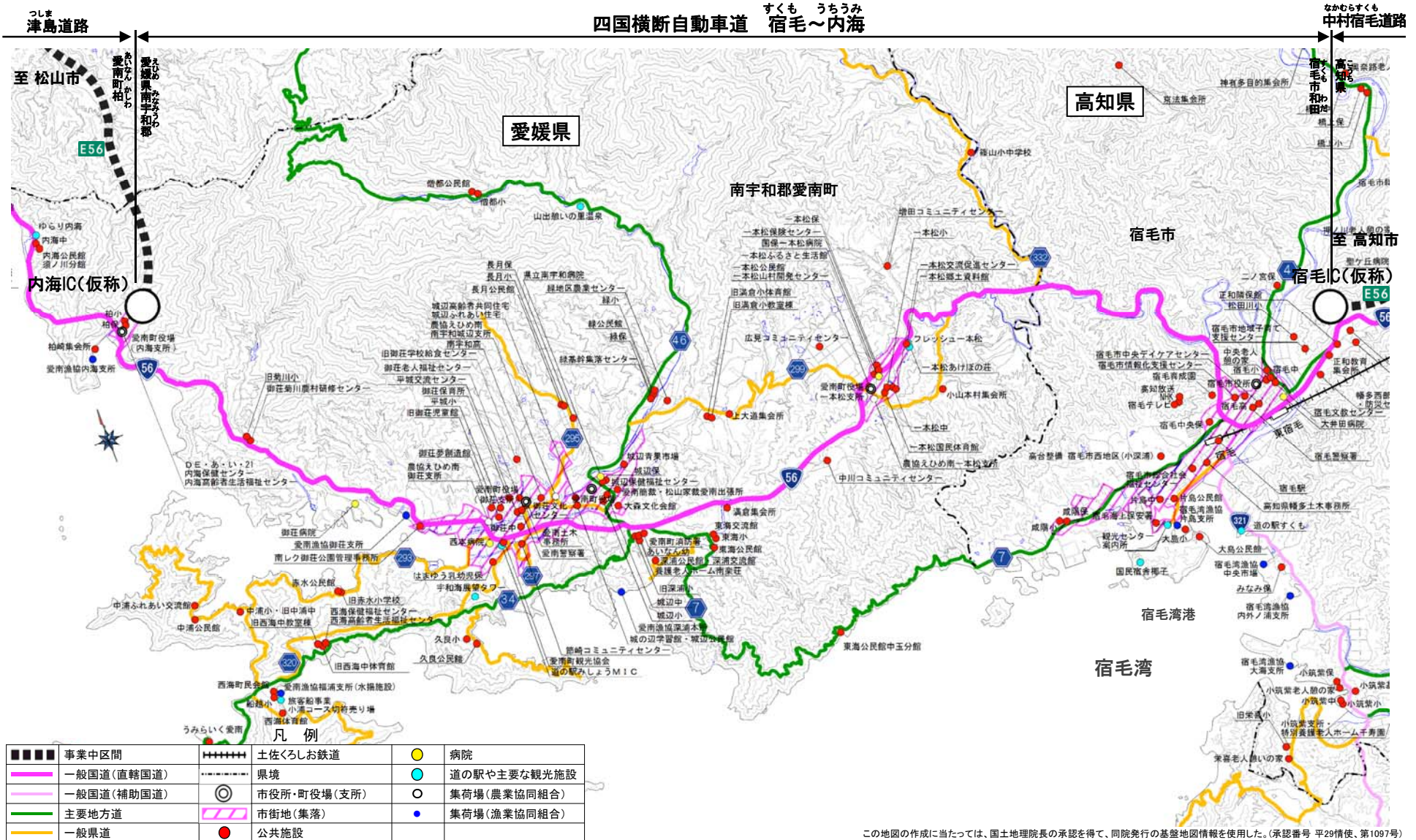


【愛媛県の震度分布図】

【高知県の震度分布図】

5. 複数のルート帯案の検討(速達性・走行性及び生活環境の保全と調和)

○国道56号の沿線や宿毛湾港周辺に、市街地(集落)が形成され、市役所・役場、学校、医療機関、市場、駅などが集積しており、生活環境の保全に配慮しつつ、速達性・走行性を考慮する必要がある。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1097号)

5. 複数のルート帯案の検討(自然環境等の保全と調和)

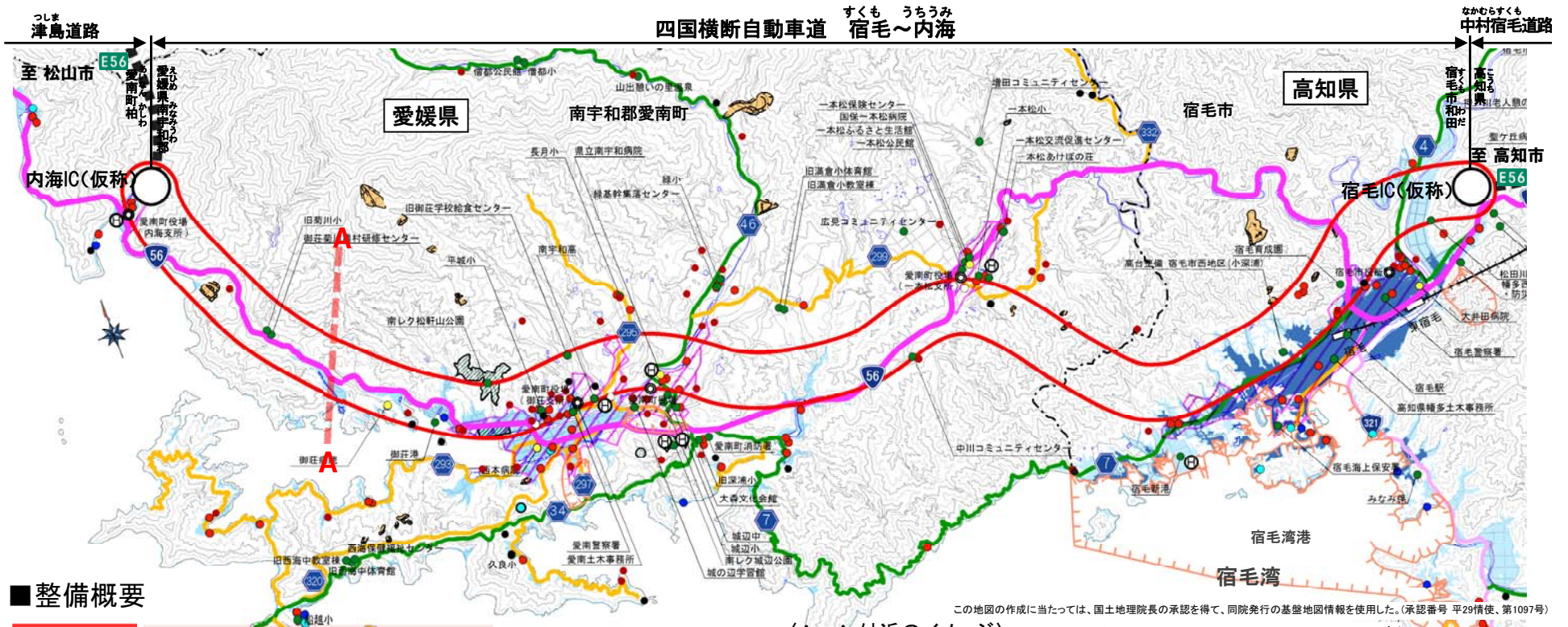
- 国立公園、都市公園、鳥獣保護区、名勝・史跡・天然記念物などが、沿岸部や国道56号沿線に点在している。
- 重要な動植物については、詳細なルート・構造等の検討段階で配慮し検討を進める。
(今後、詳細な調査を実施して生息域などを把握)



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1097号)

5. 対応方針(案)の検討【案①】

○案① 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案

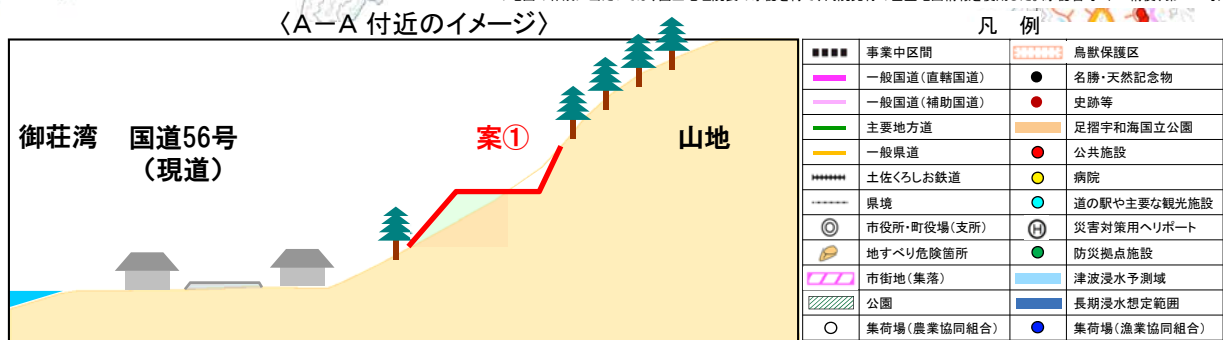


■整備概要

整備概要	延長 約 29 km
	速度 80 km/h
コスト	2車線
	(自動車専用道路)
コスト	約 1250 ~ 1300 億円

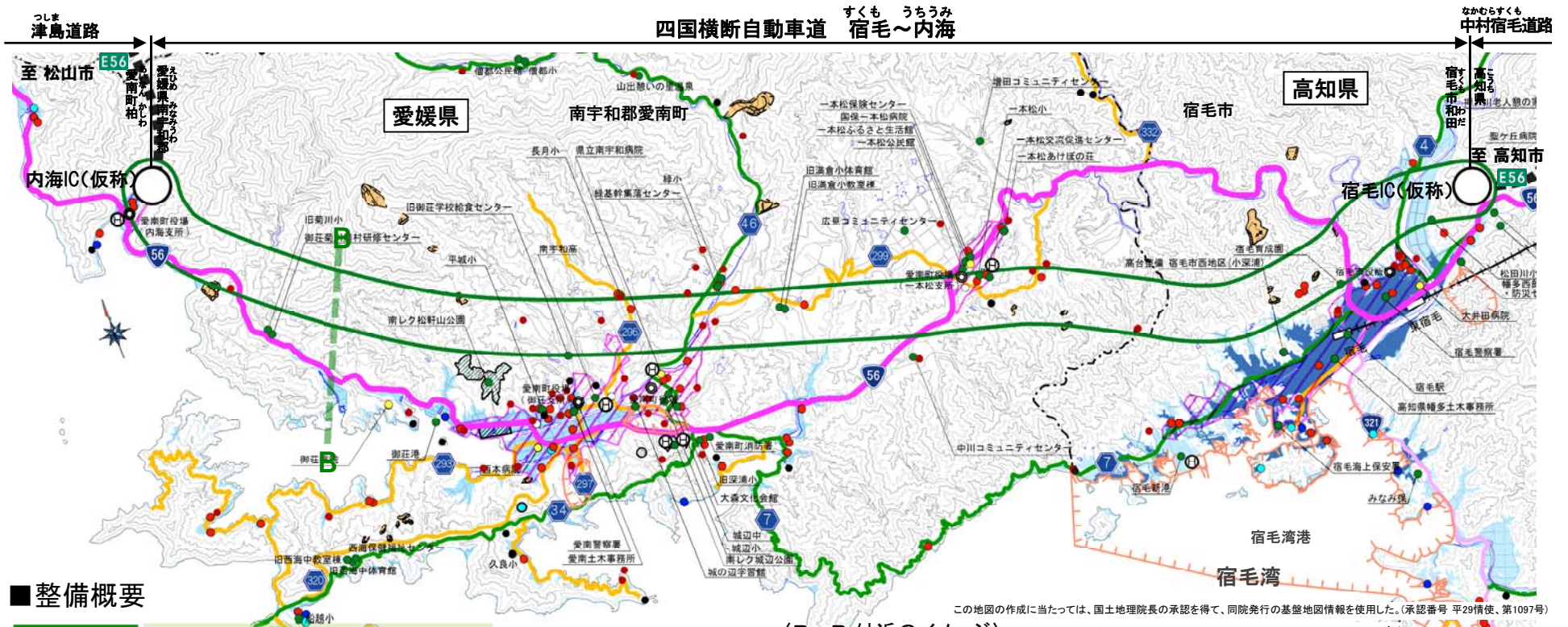
■ルート帯の概要

内容	・市街地(集落)の極力近くを通るルートで、コスト削減の観点から可能な範囲で土工(切土・盛土)を採用し、新たな自動車専用道路を整備する。
----	---



5. 対応方針(案)の検討 【案②】

○案② 区間延長を極力短くしたバイパス案

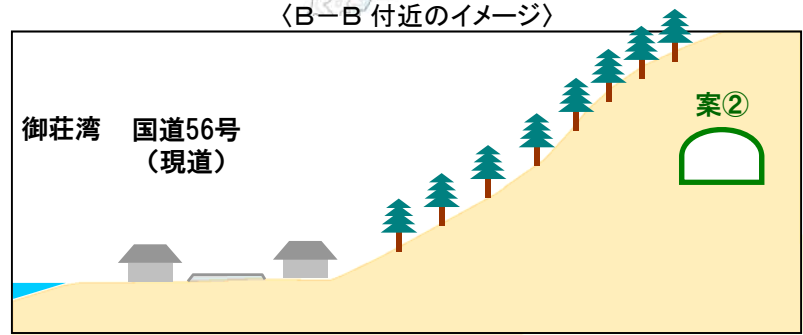


■整備概要

整備概要	延長 約 27 km
	速度 80 km/h
コスト	2車線 (自動車専用道路)
	約 1450 ~ 1500 億円

■ルート帯の概要

内容 ・区間延長を極力短くしたルートで、トンネル構造等を採用し、新たな自動車専用道路を整備する。

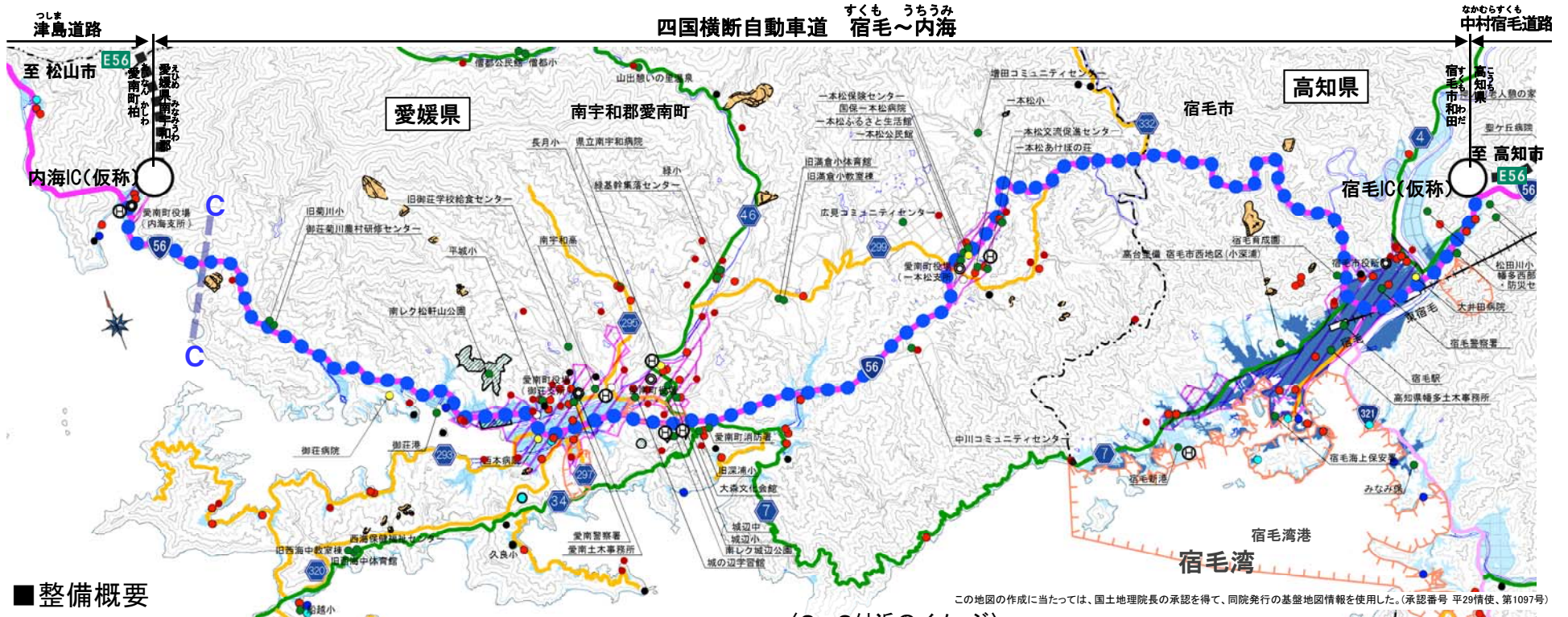


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1097号)

凡例

■■■■ 事業中区間	●●●● 鳥獣保護区
■■■■ 一般国道(直轄国道)	● 名勝・天然記念物
■■■■ 一般国道(補助国道)	● 史跡等
■■■■ 主要地方道	■ 足摺宇和海国立公園
■■■■ 一般県道	● 公共施設
■■■■ 土佐くろしお鉄道	● 病院
■■■■ 県境	● 道の駅や主要な観光施設
● 市役所・町役場(支所)	● 災害対策用ヘリポート
● 地すべり危険箇所	● 防災拠点施設
■■■■ 市街地(集落)	■■■■ 津波浸水予測域
■■■■ 公園	■■■■ 長期浸水想定範囲
○ 集荷場(農業協同組合)	● 集荷場(漁業協同組合)

○案③ 現道改良案



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1097号)

■整備概要

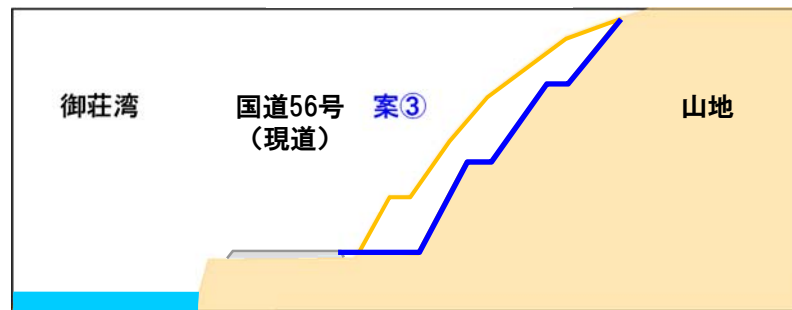
整備概要	延長 約 34 km
	速度 60 km/h 2車線 (一般道路)

コスト	約 100 ~ 150 億円
------------	----------------

■ルート帯の概要

内容	・現状の国道56号の急カーブ・道路幅等を改良する。
-----------	---------------------------

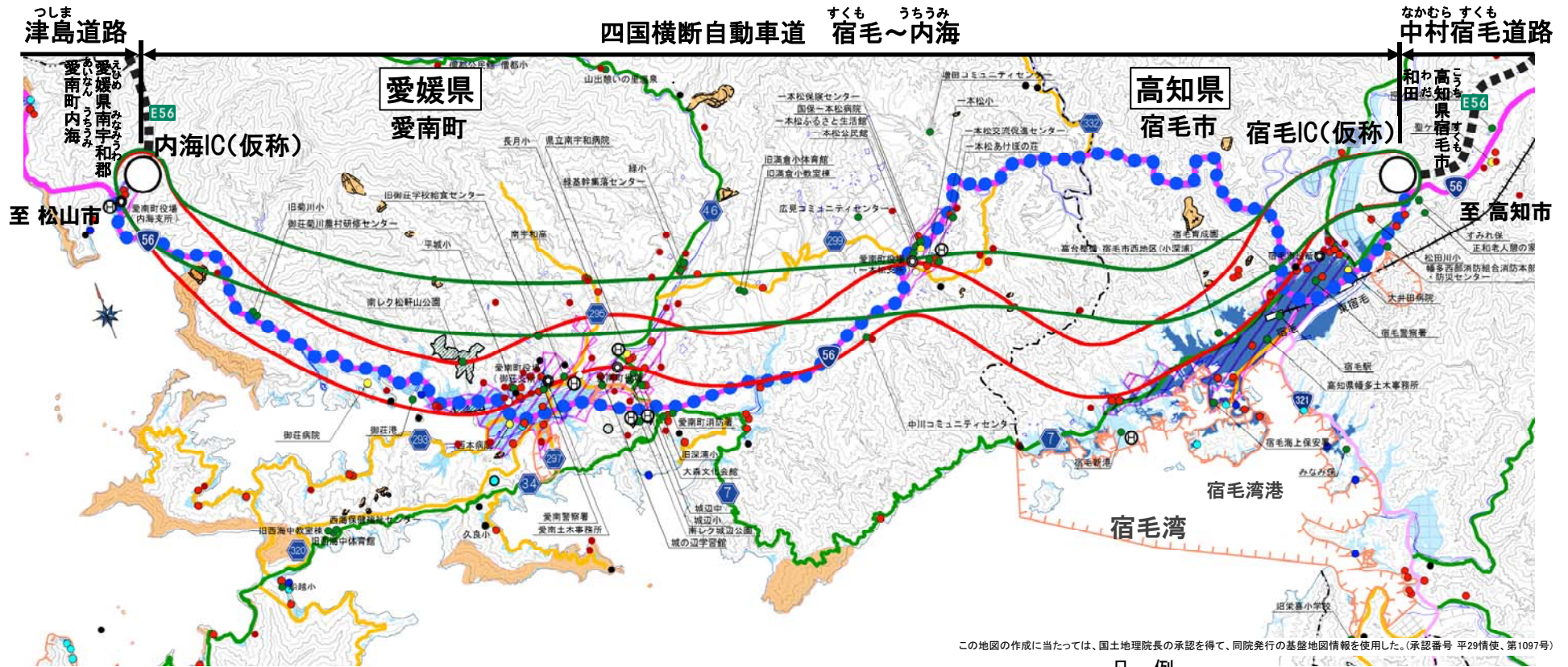
〈C-C付近のイメージ〉



凡例

■■■■ 事業中区分	● 鳥獣保護区
■ 一般国道(直轄国道)	● 名勝・天然記念物
■ 一般国道(補助国道)	● 史跡等
■ 主要地方道	■ 足摺宇和海国立公園
■ 一般県道	● 公共施設
●●●● 土佐くろしお鉄道	● 病院
----- 県境	● 道の駅や主要な観光施設
◎ 市役所・町役場(支所)	⊕ 災害対策用ヘリポート
🍌 地すべり危険箇所	● 防災拠点施設
🏘️ 市街地(集落)	🌊 津波浸水予測域
🌳 公園	📏 長期浸水想定範囲
○ 集荷場(農業協同組合)	● 集荷場(漁業協同組合)

5. 対応方針(案)の検討(ルート帯案の概要及び比較評価)



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1097号)

- 案①** 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案
- 案②** 区間延長を極力短くしたバイパス案
- 案③** 現道改良案

凡 例

■■■■	事業中区間		地すべり危険箇所	●	病院
	一般国道(直轄国道)		市街地(集落)		道の駅や主要な観光施設
	一般国道(補助国道)		公園	⊕	災害対策用ヘリポート
	主要地方道		鳥獣保護区	●	防災拠点施設
	一般県道	●	名勝・天然記念物		津波浸水予測域
	土佐くろしお鉄道	●	史跡等		長期浸水想定範囲
-----	県境		足摺宇和海国立公園	○	集荷場(農業協同組合)
◎	市役所・町役場(支所)	●	公共施設	●	集荷場(漁業協同組合)

災害対策用ヘリポート: 愛媛県・高知県の地域防災計画・災害時医療救護計画で指定されている災害対策用ヘリポート
 防災拠点施設: 愛媛県・高知県の防災拠点および愛南町・宿毛市の地域防災計画で指定されている二次避難施設
 津波浸水予測域: H24.12.10「高知県版第2弾」南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」および
 H25.6.10「愛媛県地震被害想定調査(第一次報告)について」公表資料を基に作成
 鳥獣保護区: 平成24年度 高知県鳥獣保護区等位置図(高知県)、国土政策局GISデータ
 名勝・史跡・天然記念物: 愛南町、宿毛市教育委員会資料
 公共施設: 公立学校(小・中・高・養護)、警察署、消防署、図書館、体育館、国・県・市町の事務所

5. 対応方針(案)の検討(ルート帯案の概要及び比較評価)

対策案の考え方		案① 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案	案② 区間延長を極力短くしたバイパス案	案③ 現道改良案 (現状の国道56号の急カーブ・道路幅等を改良する案)	
		延長 約29km 80km/hで走行できる自動車専用道路 (2車線)	延長 約27km 80km/hで走行できる自動車専用道路 (2車線)	延長 約34km 60km/hで走行できる一般道路 (2車線)	
評価項目					
政策目標	①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保 ・代替路の確保 ・防災拠点施設や避難路との連携	国道56号の代替機能	国道56号の代わりとして利用できる	国道56号の代わりとして利用できる	現状の国道56号を改良するため、代わりとはならない
		地域の防災拠点への円滑な連絡の確保	円滑な連絡が確保できる(案②より連絡距離は短い)	連絡が確保できる	津波浸水影響を受けるため、連絡が確保できない
		避難路と連携した一時的な避難場所としての活用	避難場所として活用できる	避難場所として一部活用できる	津波浸水影響を受けるため、避難場所として活用できない
	②宿毛湾港への円滑なアクセス確保により地域力強化を支援	宿毛湾港との円滑な連絡の確保	宿毛湾港への円滑な連絡が確保できる(案②より近い)	宿毛湾港への円滑な連絡が確保できる	宿毛湾港への円滑な連絡が確保できない
	③速達性・走行性の向上により産業振興を支援	市場までの輸送時間短縮、商品の品質確保(急カーブや信号交差点の影響)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる(案②より集荷場からのアクセス性は優れる)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる	輸送時間の短縮や商品の品質確保は、さほど見込めない
	④地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援	観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加(広域的な時間短縮等)	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる	時間短縮は小さく、立寄り箇所や滞在時間の増加は、さほど見込めない
⑤緊急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現、走行性向上による交通事故の減少	医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少(急カーブや信号交差点の影響)	搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少が見込まれる(案②より集落までのアクセス性は優れる)	搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少が見込まれる	搬送時間の短縮患者への負担軽減、交通事故の減少は、さほど見込めない	
配慮すべき事項	自然環境	動物への影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
		植物への影響	影響の可能性はある	影響の可能性はある	影響の可能性はあるが小さい
	生活環境	集落などへの影響	小さい	小さい(案①より小さい)	大きい
		大気質及び騒音等の影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい(案①より小さい)	影響の可能性はある
		重要な史跡等への影響	影響の可能性はある	影響の可能性はある	影響の可能性はあるが小さい
	事業期間	建設に要する期間	長い(案②より短い)	長い	短い
経済性	建設に要する費用	約1250~1300億円	約1450~1500億円	約100~150億円	

6. 第2回意見聴取方法(案)

6. 第2回意見聴取方法(案)

(1)意見聴取の基本方針

○対応方針(案)の検討のため、「ルート帯案を考える際に重要となる項目」、「インターチェンジを作る際に配慮すべき事項」に対して意見を伺う。

(2)意見聴取の方法と対象者

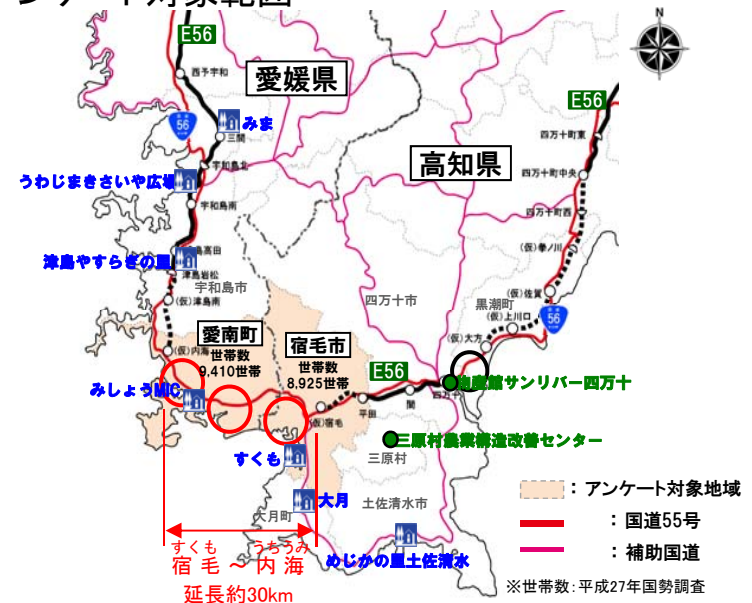
対象者・実施方法	
ヒアリング	【自治体及び団体代表者】 県・関係市町村・団体へインタビュー形式でのヒアリング 自治体:愛媛県、高知県、愛南町、宿毛市、宇和島市、四万十市、土佐清水市、鬼北町、松野町、黒潮町、大月町、三原村 各団体等:トラック協会、商工会議所、商工会、青年会議所、消防署、警察、バス事業者、農協、漁協、観光協会、医療関係、旅行会社、移住支援団体、道の駅、観光施設、市町村が地域代表として推薦いただいた地域の活動団体
	【道路利用者】 関係市町村の道の駅、観光施設の利用者へインタビュー形式でのヒアリング 道の駅:みしょうMIC、すくも、みま、うわじまきさいや広場、津島やすらぎの里、大月、めじかの里土佐清水 観光施設:フレッシュ本松、三原村農業構造改善センター、物産館サンリバー四万十
アンケート	【地域住民】 愛南町、宿毛市の住民へ郵送配布 約18,300部
	愛南町:全世帯に配布 約9,400部
	宿毛市:全世帯に配布 約8,900部
	【企業等】 愛南町、宿毛市の全企業へ郵送配布 2,700部
	愛南町:全企業に配布 1,300部
	宿毛市:全企業に配布 1,400部
	【道路利用者】 道の駅・観光施設、役場等への常設、WEB(HP掲載)による実施
その他	【地域住民】 宿毛市、愛南町の住民を対象にオープンハウス形式の説明会を開催
	【地元の高校生】 南宇和高校、宿毛工業高校による意見交換会
	【観光関係者】 宿毛市・愛南町の観光業関係者による意見交換会

※アンケート回収方法は、郵便、WEB回答による。

■ヒアリング対象範囲



■アンケート対象範囲



(3) アンケートにおける質問内容

問1 あなたの住む地域にとって、望ましいルート帯案を考える際に、何が重要と思いますか？

次のa～hから、重要と思うものを、**3つ選んでください。**

項目	
a	国道56号の代わりとして利用できること
b	災害発生時に、円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設と連絡ができること
c	津波発生時に、避難路と連携し一時的に避難場所として活用できること
d	大きな病院・宿毛湾港・市場・観光地まで早くスムーズに移動ができること
e	自然環境(動・植物)への影響が少ないこと
f	生活環境等(集落、大気質・騒音、史跡)への影響が少ないこと
g	早く開通すること
h	建設に要する費用が安いこと

上記a～h以外で、重要と思うものがあれば、ご自由にお書きください。

問2 インターチェンジを作る際に、配慮すべき事項についてどう思いますか？

次のa～dについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

配慮すべき項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 地域の防災拠点施設と円滑に連絡できること	1	2	3	4	5
b 市街地(集落)と円滑に連絡できること	1	2	3	4	5
c 広い道路と円滑に連絡できること	1	2	3	4	5
d 観光地や流通施設と円滑に連絡できること	1	2	3	4	5

上記a～d以外で、重要と思うものがあれば、ご自由にお書きください。

問3 その他、国道56号 宿毛～内海間の道路整備等について、あなた自身が日頃から思う事など、ご意見やご要望をご自由にお書きください。